



# つぎはなに色の 電車がくるかなあ。

「あー、オレンジ色だった」「ぼくの思ったとおりだ」。そんな子どもたちの声が聞こえてきます。  
市内を走る長崎電気軌道。いわゆる「ちんちん電車」です。  
1915(大正4)年に開通してからもう100年以上、市民の足として愛されてきました。  
各地の路面電車が廃止や縮小するなか、長崎の「ちんちん電車」はずっと元気に走っています。  
その理由のひとつが、日本初の「カラー電車」。  
1964(昭和39)年、車体の全面をスポンサーのために塗装した電車が登場。  
その広告収入を活かすなどの工夫で安い運賃を維持。  
いまでも市民に観光客に、なくてはならない交通手段です。  
電停で待ちながら、子どもたちといっしょに、つぎの電車の色を予想してみませんか。

## カラー電車の元祖ちんちん電車

長崎で、会いましょう。

